

学習コミュニティの構築

一条校における国際バカロレア教育の推進

一条校におけるMYPの実践

東京学芸大学附属国際中等教育学校

鮫島朋美

何が変わったか？

(私の場合...)

授業や課題の
スタイルが多様に。

授業やテストをつくるのが
大変だけど、面白い。

評価の基準が明確に。

他教科の授業が
気になる？

振り返り？反省？
の機会が増えた。

「答えのない問い」
が怖くない。



何が変わったか？ (学校として...)

授業だけでなく、
学校生活のすべてがMYPに！

生徒の自主的・自立的
活動が増えた。

教科会や校内研究会の
機会が増えた。



プロジェクトや課題研究
のテーマが独創的？

研究倫理ガイドラインを
策定した。



東京学芸大学附属国際中等教育学校

Tokyo Gakugei University International Secondary School



TGUISS とは？

多様で異なる人々と
共生・共存でき、
進展する内外の国際化の
中で活躍する力を持った
生徒を育てる学校

■ 多様な生徒層 (2015年度)



在校生
滞在国

48

国/地域

沿革



2007年 開校

2010年 国際バカロレア中等教育プログラム(MYP)
認定校

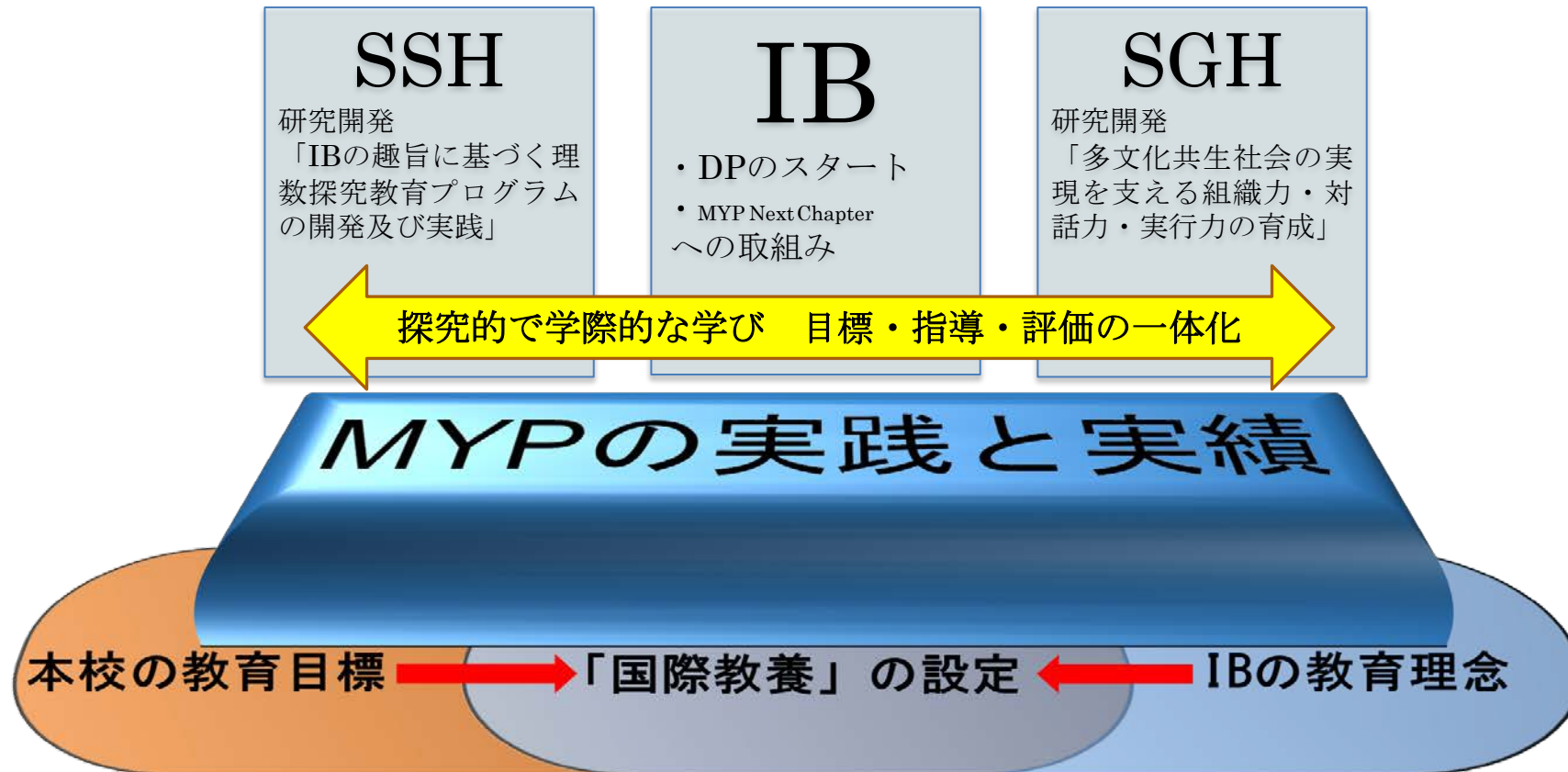
2011年 ユネスコスクール加盟校

2014年 スーパーサイエンスハイスクール (SSH)
指定校

2015年 スーパーグローバルハイスクール (SGH)
指定校

2015年 国際バカロレアディプロマプログラム (DP)
認定校(2016年4月より実施)

実施しているプログラムおよび研究開発



■ MYPとは…

- 国際バカロレア(IB)の提供する中等教育プログラム。
- 11～16歳の生徒を対象にした5年間のプログラム。
- DP(ディプロマプログラム)の基本方針の大半を共有し、生徒がDPにおいて良い成果をあげられるように準備することが目的とされたものでもある。

使用言語や学習内容の細かな規定はないので、学習指導要領の示す学習内容や目的の枠組みを利用して実践することが可能である。

Middle Years Programme model

◎学習者中心の
モデル

◎プログラムの
重要な要素

指導の方法 ・ グローバルな文脈
学習の方法 ・ 概念

◎プログラムの成果

行動・奉仕活動 パーソナルプロジェクト

◎8つの教科

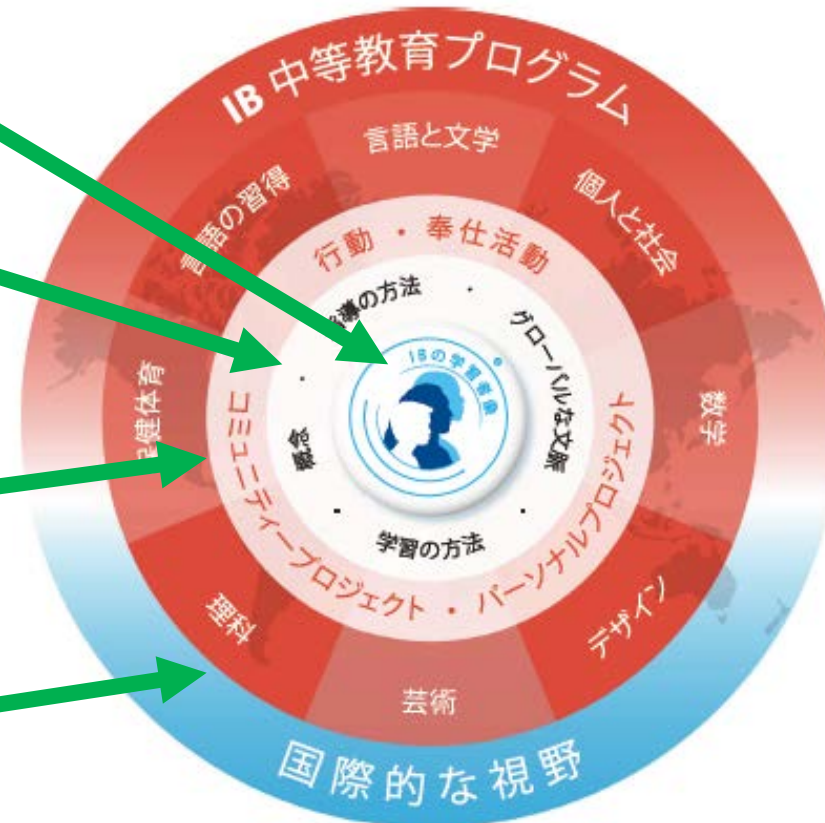


図1
プログラムモデル

何が同じで、何が違うのか？

< 論点整理より >

育成すべき資質・能力の三つの柱は、
i) 何を知っているか、何ができるか
ii) 知っていること・できることをどう使うか
iii) どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

< MYP:原則から実践へより >

国際バカロレア (IB) は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を気づくことに貢献する、探究心。知識、思いやりにとんだ若者の育成を目的としています。

学習指導要領

- 学習内容
- 教育課程編成の基準

MYP

- 授業設計の方法
- 学習評価の方法

互いに学び合う場

MYPには、

“学習コミュニティ構築”のための

しかけがたくさんある！

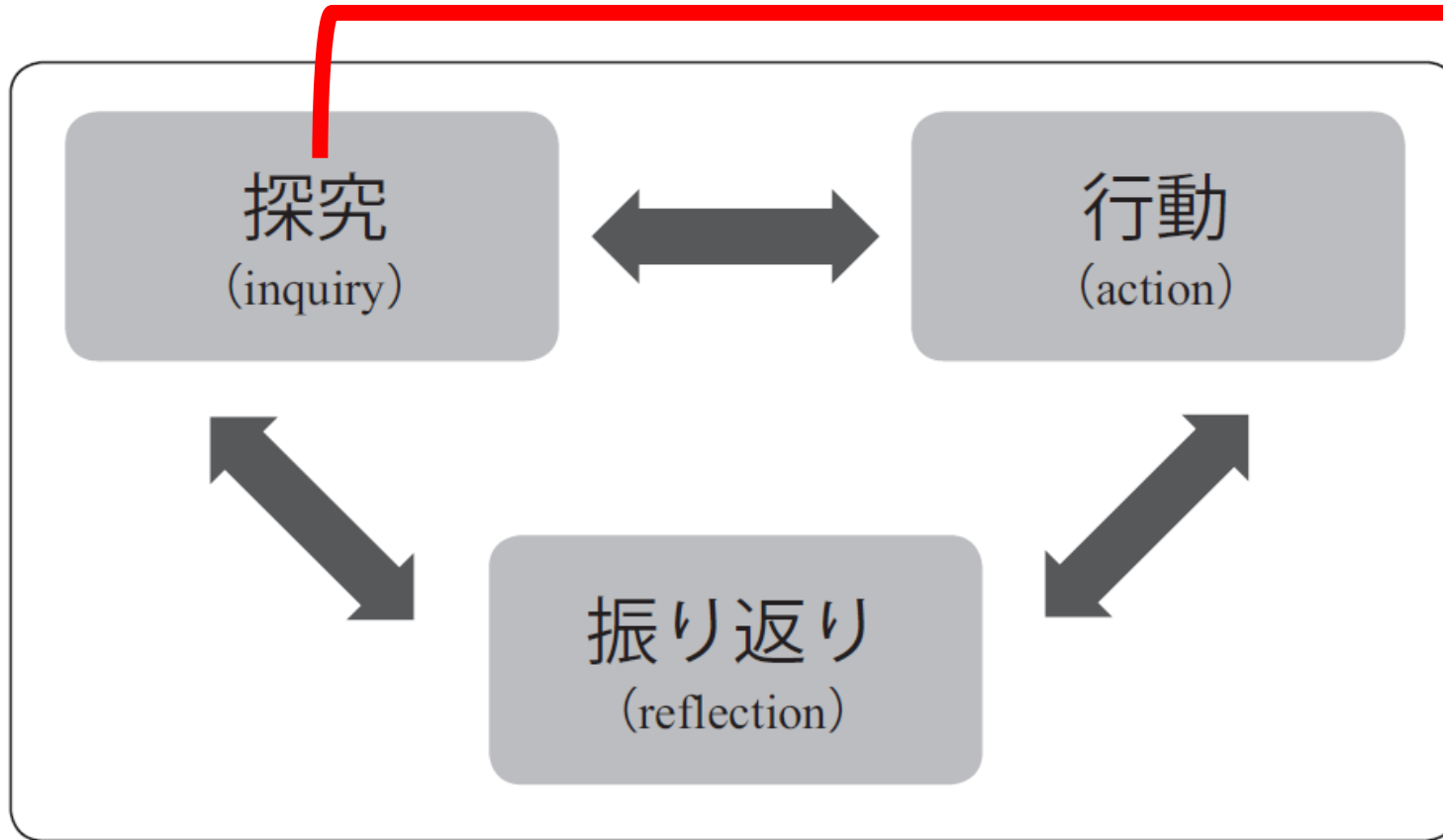
■しかけ その1

「探究の問い」の設定

■しかけ その1

「探究の問い」の設定

MYPの単元作成は...



単元の目的を確立する。

- ✓ 重要概念と関連概念
- ✓ グローバルな文脈
- ✓ 探究テーマ
- ✓ **探究の問い**
- ✓ 教科の目標
- ✓ 総括的評価
- ✓ 学習の方法 (ATL)

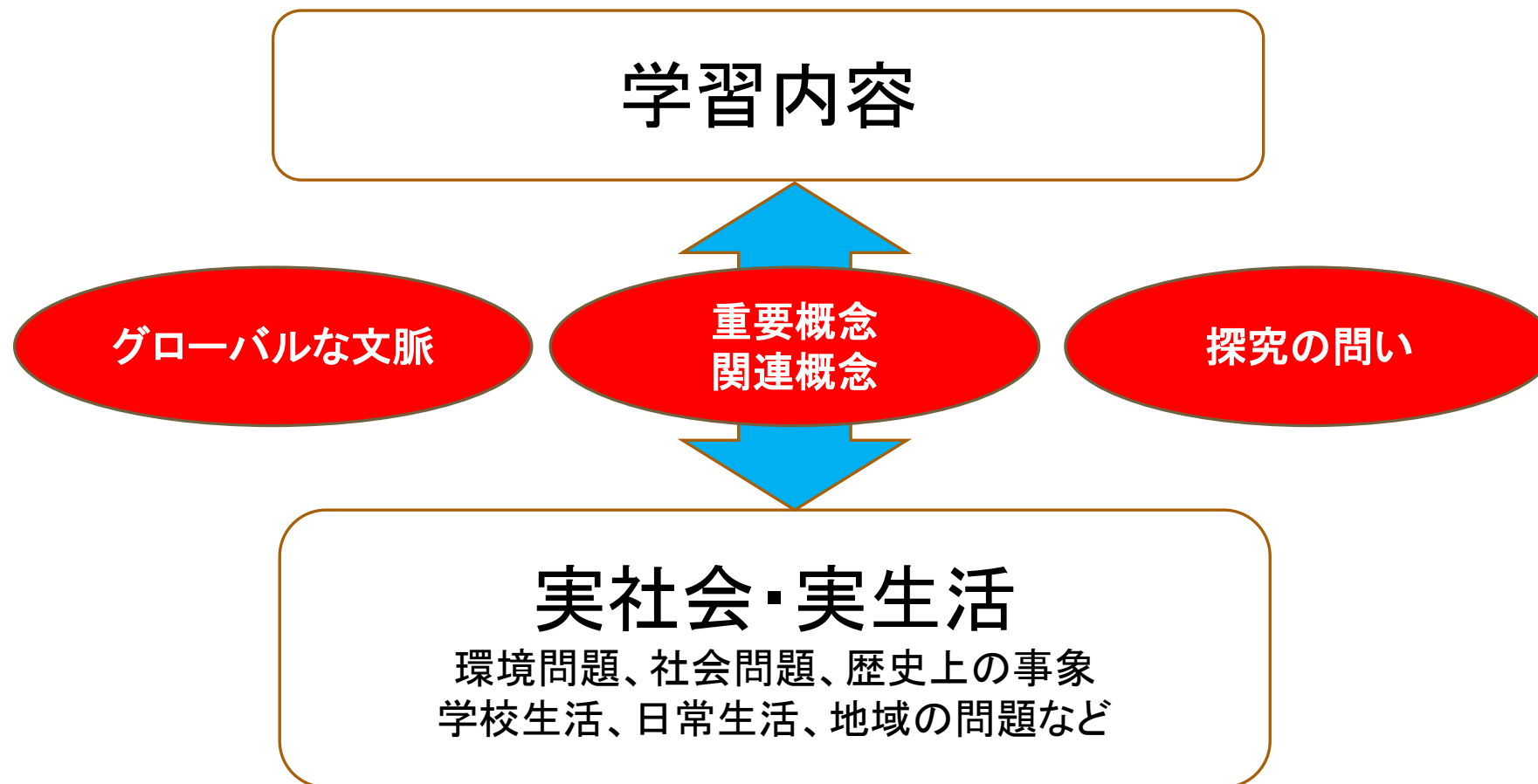
図8

MYPの単元の作成におけるダイナミックな側面

■しかけ その1

「探究の問い」の設定

探究的な学習を設計するために...



■ しかけ その1

「探究の問い」の設定

目に見えないものを見えるように表すには？

生存戦略にはどのようなものがあるか？

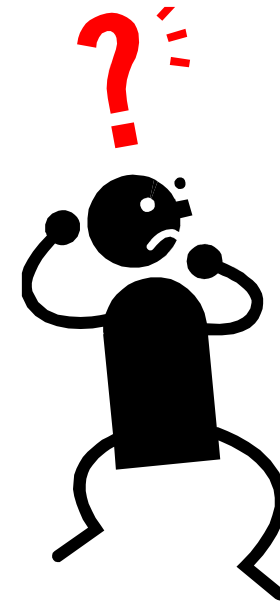
格差とは何か？

1つのリンゴを2つに分けるには？

世の中において若者が果たす役割とは何か？

私たちの生活を豊かにしているものは？

どのような文化の上に「今」は成り立っているのか？



■しかけ その1

「探究の問い」の設定

私の失敗事例...

善か？悪か？

■しかけ その2

学際的単元の実施

■ しかけ その2

学際的単元の実施

MYPにおける学際的学習とは、生徒が2つ以上の教科の知識体系や考え方を理解し、それらを統合して新たな知識を創造するプロセスである。

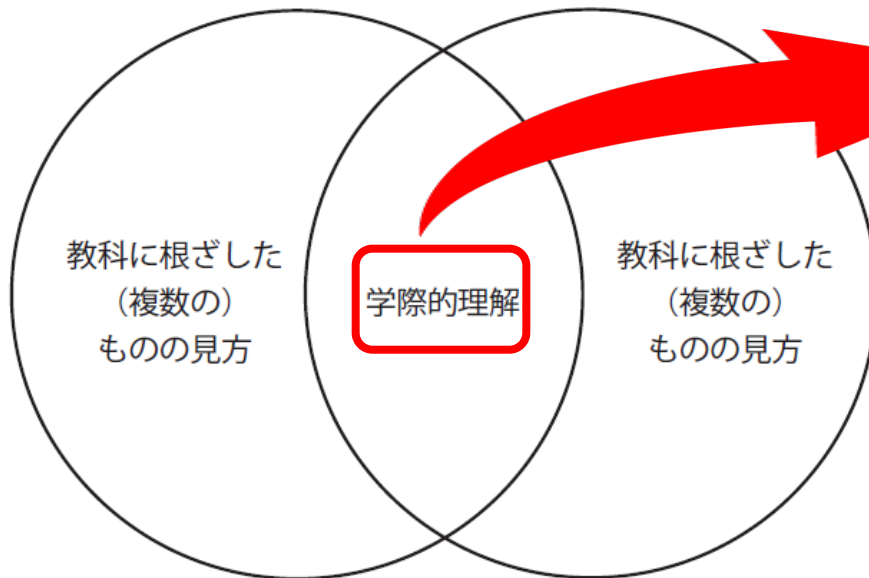


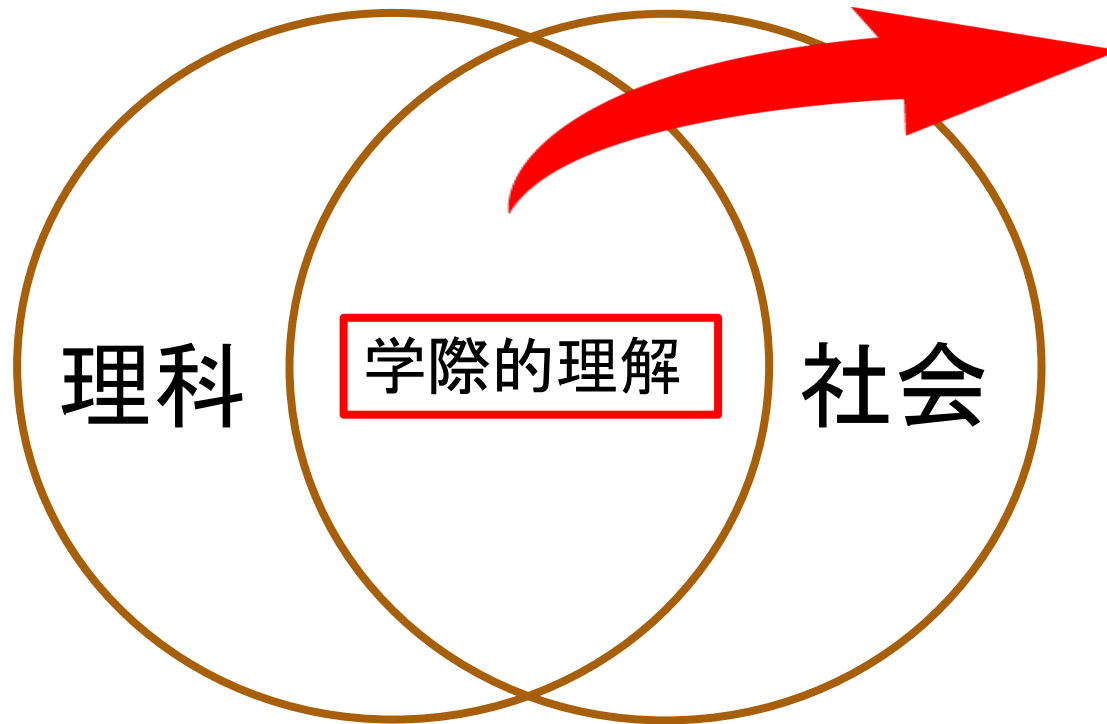
図6
学際的理解

生徒は、2つ以上の教科や確立された専門分野の概念や方法、コミュニケーション形態を用いて、現象を説明し、問題を解決し、モノを作成し、問題を提起する。1教科の学習だけではあり得なかったであろう、こうした取り組みを成し遂げることで、生徒は特定のトピックに関する学際的理解を示すことになる。

■ しかけ その2

学際的単元の実施

私の実践事例...



共通テーマ「水俣病」
共通の重要概念「システム」

産業革命以降の科学技術の進展は、人間生活を豊かで便利なものにしてきた。特に日本においては、高度経済成長期に重化学工業が急速な進展を遂げた。しかし、その発展と同時に水俣病に代表される公害問題が全国各地で引き起こされた。この一連の発展の「システム」を、自然科学(理科)と社会科学(社会科)の両面から考察する

コンセプトマップの作成

<理科の学習>

1. 水俣病とは
2. 水俣病と化学をつなぐ疑問を整理
3. 化学および理科の基本事項に関する学習
4. 水俣病に関連する化学物質に関わる実験

コンセプトマップへの記入

<社会の学習>

1. 日本の高度経済成長
2. 水俣病事件の実相を知る
3. 水俣病は「文明社会の宿命としての危険」か「のさり(天からの授かりもの)」か
4. 水俣病認定基準と「いのち」

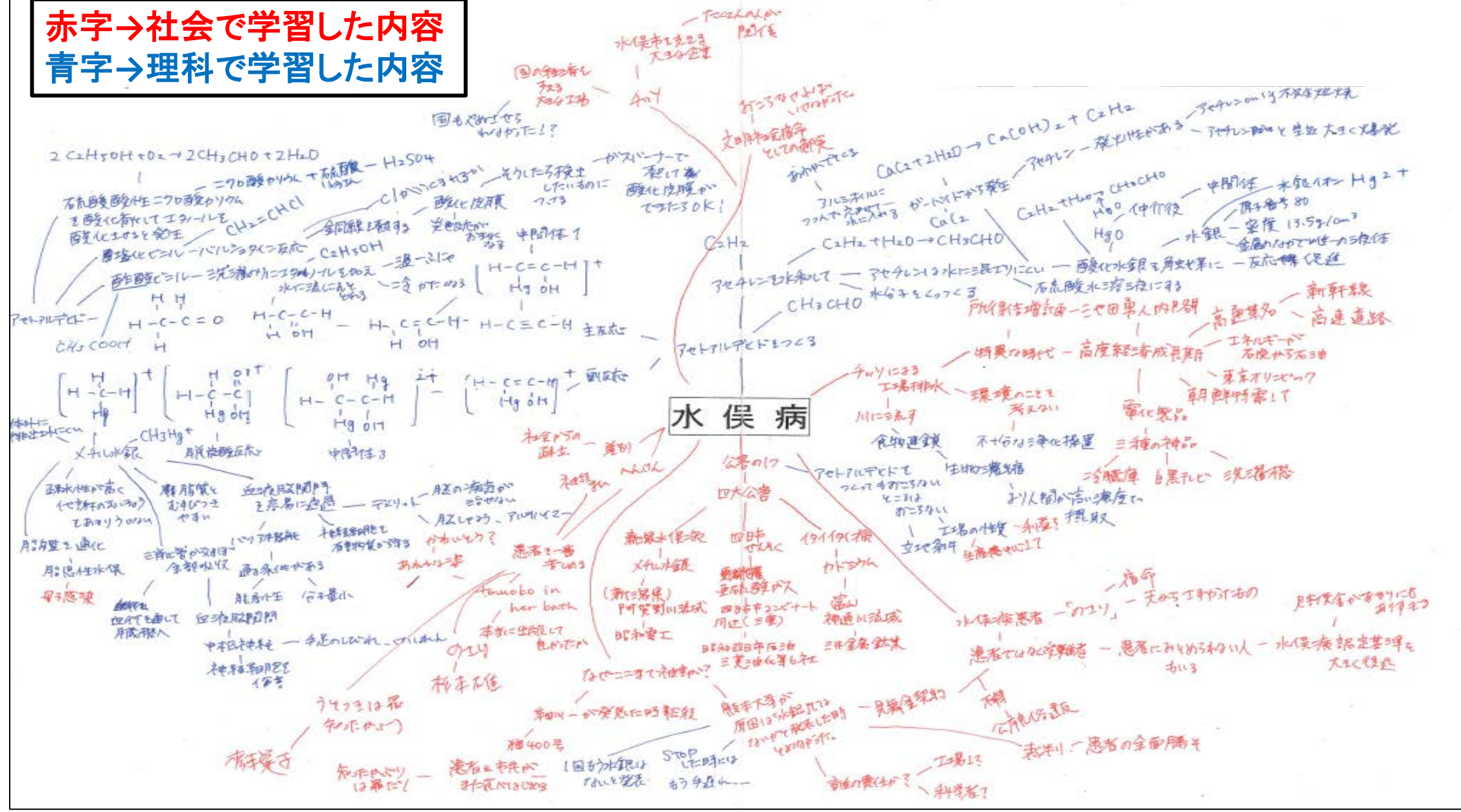
「科学者はどこまで責任を取るべきか？」に対する議論

「水俣病受難者のいのちにまっとうに向き合うこと」に焦点を当てた質問づくり(グループ討議)

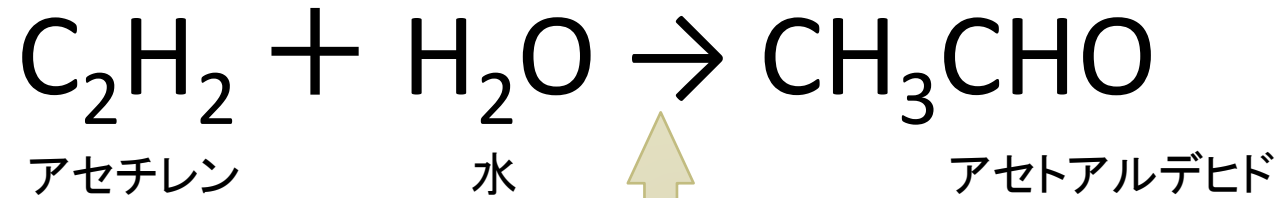
コンセプトマップの完成

単元テスト

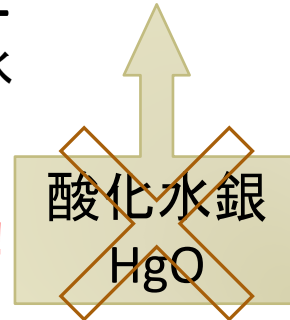
赤字→社会で学習した内容
青字→理科で学習した内容



アセトアルデヒドの生成を 化学反応式にすると...



触媒として使用。
化学反応式には書かない！



あれっ？触媒の定義通りなら、
メチル水銀の生成はないはずでは？

コンセプトマップの作成

<理科の学習>

1. 水俣病とは
2. 水俣病と化学をつなぐ疑問を整理
3. 化学および理科の基本事項に関する学習
4. 水俣病に関連する化学物質に関わる実験

コンセプトマップへの記入

<社会の学習>

1. 日本の高度経済成長
2. 水俣病事件の実相を知る
3. 水俣病は「文明社会の宿命としての危険」か「のさり(天からの授かりもの)」か
4. 水俣病認定基準と「いのち」

「科学者はどこまで責任を取るべきか？」に対する議論

「水俣病受難者のいのちにまっとうに向き合うこと」に焦点を当てた質問づくり(グループ討議)

コンセプトマップの完成

単元テスト

互いに学び合う場

MYPには、

“学習コミュニティ構築”のための

しかけがたくさんある！